個 別 事 業 計 画 書

所管部署:教育委員会 社会教育課

(単位:千円)

	細事業名					新継区分	継続事業
第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る				社会教育法			
1 安心して子育てできるまちをめざす			根拠法令等	「家庭教育支援総合推進事業」実施委託要綱			
の位置づけ (1)地域全体で子育てを支援する仕組みづくり							
平成 22 年度 ~ 平成 24 年度		年度	当該年度に	おける事業の実施内容	当該年度に目打	指す成果・効果	事業費
都市化、核家族化および地域における地縁的なつながりの希薄化等による家庭の教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。		平成22	教育学級の実施 で実施 で実施		163		
親が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。	計画年度ごとの事業概要と目標・	度	dali o tr. U. I	de Wildow I a vers o effette	dall a A sa (I		
		平成23年			市内の全ての幼・	・小・甲字校におい	163
親にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。		度	古内の冬幼・小	√・中学校においての家庭	市内の全ての知	• 小• 中学校におい	
家庭がこどもにとって安らぐ場所になっているか見つめ なおす。	事業費	平成 24 年度			で実施	・小・中子仪にわり	163
三年 (1) ・ 日 ・ イ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1 安心して子育てできるまちをめざす (1)地域全体で子育てを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 都市化、核家族化および地域における地縁的なつながのの希薄化等による家庭の教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 視が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。	1 安心して子育てできるまちをめざす (1)地域全体で子育てを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 都市化、核家族化および地域における地縁的なつながのの希薄化等による家庭の教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 説が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する。学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。 説にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。 説にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。	1 安心して子育てできるまちをめざす (1)地域全体で子育てを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 都市化、核家族化および地域における地縁的なつながの希薄化等による家庭の教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 視が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。 現にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。 現にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。 東茂 23 年度 東京庭がこどもにとって安らぐ場所になっているか見つめなおす。	1 安心して子育てできるまちをめざす (1)地域全体で子育てを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 都市化、核家族化および地域における地縁的なつながのの希薄化等による家庭の教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 視が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。 現にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。 現にこどもの成長段階に応じた家庭教育の重要性を認識させ、今後の子育てに役立てる。 本語の事業概要と目標・事業費 家庭がこどもにとって安らぐ場所になっているか見つめなおす。	1 安心して子育でできるまちをめざす (1)地域全体で子育でを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 都市化、核家族化および地域における地縁的なつながの希薄化等による家庭の教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 視が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育へ参画を促進する。市内の各幼・小・中学校において家庭教育学級を実施する。 成 22 年度	1 安心して子育でできるまちをめざす (1) 地域全体で子育でを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 都市化、核家族化および地域における地縁的なつながのの希慮化等による家庭の教育力の低下が指摘される 現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 現が参加する様々な機会を活用した家庭教育に関する。市内の各幼・小・中学校においての家庭教育学級の実施 本書館である。 本書の表記である。 本書館である。 本書を表述する。 本書を表述する。 本書を表述する。 本書を表述する。 本書を表述する。 本書を表述する。 本書を表述である。 本書を表述できまる。 本書を表述である。 本書を表述できまる。 本書を表述できまる。 本書を表述である。	1 安心して子育でできるまちをめざす (1)地域全体で子育でを支援する仕組みづくり 平成 22 年度 ~ 平成 24 年度 市成と28 年度 ~ 平成 24 年度 中度 当該年度における事業の実施内容 当該年度に目指す成果・効果 本市となる家庭教育力の低下が指摘される現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 現状では、更なる家庭教育支援の必要性が高まっている。 最高 1 市内の各分・小・中学校において家庭教育で多か。 本書書 2 日本 2